横浜市立一本松小学校

学校だより

４月号

平成３１年４月５日
横浜市立一本松小学校
校　長　　小原　健人

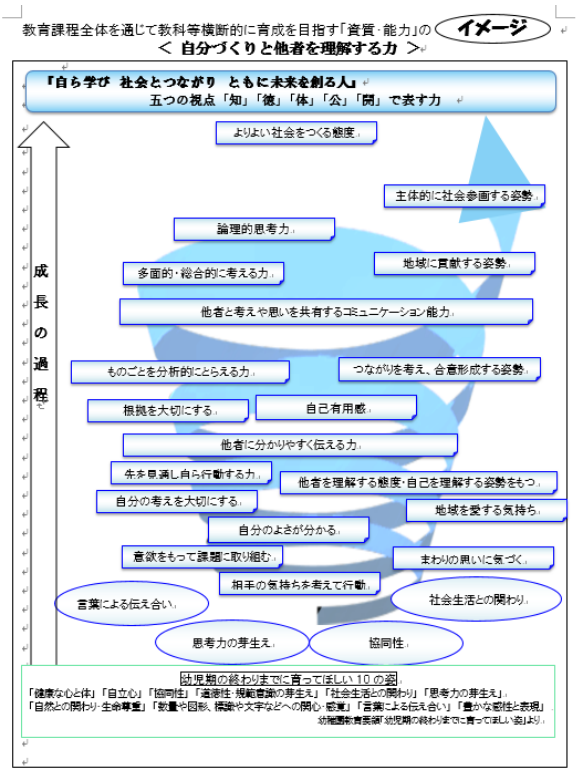
ご入学・ご進級おめでとうございます

校長　　小原　健人

新しい元号が「令和」と発表され、「平成」も残りひと月となりました。平成最後の入学式・始業式は美しく舞う桜に彩られ、新年度を迎えたお子様たち一人ひとりの胸には、進級した喜びと新しい学校生活に対する期待や希望があふれていました。

あらためまして、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申しあげます。一本松小学校は 55 名の元気な新１年生を迎え、それぞれ進級した２年から６年生を合わせ全校児童 300 名で今年度をスタートいたしました。

さて、新年度を迎え、本校では新しい教育を目指してまいります。先月号でも少し触れさせていただきましたが、「これからの未来をたくましく生きていく子どもたちには、どのような資質・能力が求められるか」を職員全体で考え、「自分づくりと他者を理解する力」と設定しました。これには、小学校の６年間、義務教育の９年間をかけて、本校の子どもたちに自分をしっかり確立し、共生社会に向けて他者を共感的に理解する力を身につけてほしい、という私たちの願いが込められています。そしてその資質・能力を、さらに発達段階や系統を分析しながら作成したものが下の図です。



もちろん今日入学した１年生が、いきなり「自分づくりと他者を理解する力」を身につけられるわけではありません。入学時にはどのような力をもっており、それをどのような機会に、どのような方法で高めていくか、それが書かれたものが、今年度から３箇年計画で立案された「一本松小学校中期学校経営計画」です。

育成したい資質・能力が目指すランドマーク、そして中期学校経営計画が設計図となり、授業だけでなく、入学式や運動会やなどの学校行事、係活動や学級会などの特別活動、すべての教育活動が有機的に関連していきます。

さらに今年度は、一本松小学校の教育が目指すもの、一本松小学校の取組がわかりやすく、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様に伝わるよう、学校教育目標も見直していきます。

本日の始業式、入学式では、子どもたちに最も大切にしてもらいたい、２つの「あ」として、「あんぜん」と「あいさつ」を挙げました。学校生活を送る前提として、安全であること、子どもたちが安心して毎日楽しく過ごすことのできる場であること、これらはこれからも決して変わることはありません。

今年度も職員一同、「『まち』と共にある一本松小学校」を目指し、気持ちも新たに学校経営に取り組んでまいります。皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。